

☆学習目標

言葉による見方・考え方をはたらかせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書(国語・書写) 漢字のワーク 国語のワーク 文法ワーク 資料集 (タブレット)(習字道具)	持ち物	教科書・ファイル 漢字のワーク・国語のワーク 文法ワーク・資料集・筆記用具
学習の進め方	①挨拶: 服装を正し、全体で挨拶する。 ②忘れ物チェック: 教科書・漢字のワーク・国語のワーク・ファイルなどを持ってくるか確認する。 ③漢字の練習、または漢字小テストを行う。 ④本時の目標: 今日の授業で行うことを説明する。 ⑤本読み: 範読(CDを使うこともある)や指名読みをしながら、漢字や語句の確認をする。 ⑥内容理解: 主題にそった発問をし、内容理解をすすめる。 ⑦板書: 内容の理解を確認しながら、黒板にまとめていく。 ⑧まとめ: 本時のまとめと振り返りを行う。 ⑨挨拶: 全体で挨拶する。 ※内容によって、班学習やグループ討議、発表をすることもある。 ※聞きとりテストや暗唱テスト、文法や漢字の小テストを行うこともある。 ※文法・書写を学習することもある。 ※単元で学習したことを生かした作品作りをすることもある。		
学習上の留意点	・積極的に発言するように心がける。その際、挙手をし指名されてから発言すること。 また、発言内容は、伝わりやすいよう、言葉を考えて発言する。 ・忘れ物をしないようにする。 ・他の人が読んだり発表したりしている時は、静かに聴く態度をとる。 ・班学習やグループ討議などには積極的に参加し、学習する。 ・プリントやワークシートは全て記入し、聞きとったことはメモを取るよう心がける。 ・古文は声を出して何度も朗読する。		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	・休憩時間中に授業の準備をしておきましょう。(忘れ物がないようにしましょう。) ・課題は決められた期日までに必ず提出しましょう。 ・必ず黒板を写し、必要であれば先生の話をもメモしておきましょう。 ・プリントに書く際は、あとで授業内容を思い出せるように工夫しましょう。 ・しっかり先生話を聞いて、わからないことがあれば質問し、解決していけるようにしましょう。 ・単元で学習したことを生かした作品作りに取り組んでいきましょう。
家庭	・漢字や語句の意味を自主的に調べましょう。 ・プリントやワーク類を見直し、その日の授業の復習をしておきましょう。 ・何度も音読をし、漢字もすらすら読めるようにしておきましょう。 ・日頃から本や新聞などを読み、言葉にふれる機会を増やしましょう。 ・毎日の「朝の読書」も、読書の習慣づけの絶好のチャンスです。積極的に取り組みましょう。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			
月	単元計画	書写	試験
4	名づけられた葉 セミロングホームルーム 話し言葉と書き言葉		
5	グループディスカッション 文法「動詞」		中間 テスト
6	宇宙に行くための素材 人間は他の星に住むことができる のか 文法「形容詞」		期末 テスト
7	短歌の世界 短歌十首 壁に残された伝言		
8	味は味覚だけでは決まらない 枕草子・徒然草		復習 テスト
9	敬語の意味と種類 プレゼンテーション		
10	プレゼンテーション 文法「形容動詞」		中間 テスト
11	平家物語 一〇〇年後の水を守る 飲み水は不足しているか 文法「助詞」		期末 テスト
12	大阿蘇 小さな手袋 創作文	行書	
1	動物園でできること 論説文 文法「助動詞」		復習 テスト
2	漢詩の世界 走れメロス		学年末 テスト
3	情報誌		

評価にあたって		
評価観点		評価の場面・方法
知識・技能	・漢字の読み書きが正しくできているか ・文法事項についての知識、考え方を理解できているか ・表現技法を理解できているか	・漢字や文法などの小テスト ・定期テスト
思考・判断・表現	・進んで意見を発表し、他者の意見をよく聞いて、自分の意見にいかしているか ・場面や目的に応じて、話し合っているか ・文章の主題をとらえ、自分の意見や感想を文章で表現できるか ・自分の意見の根拠を明らかにしながら文章を書いているか ・登場人物の心情やその変化を捉えているか ・文脈に即して筆者の主張を捉えているか ・表現技法、指示語、接続語などに注意し、内容をよみとっているか	・班での話し合いの様子や発表 ・聞きとりテスト ・授業中における課題(作品など) ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	・授業に積極的に参加できているか ・授業を聴いて、ノートをとっているか ・提出物を出せているか ・遅刻をせず、忘れ物もないか ・単元で学習したことを作品に生かしているか	・授業中の態度(遅刻や忘れ物も含めて) ・プリント、ワークなど ・振り返りなど ・漢字や文法などの小テスト ・授業中における課題(作品など)

* 変更になる場合もあります

☆学習目標

社会的事象の見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成すること。

地理：世界の諸地域の地理的事象に関し理解するとともに様々な情報を調べまとめる技能、社会に見られる課題の解決に向けて思考・判断したりする力を身につけ、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

歴史：わが国土や歴史、国際関係に関し理解するとともに、様々な情報を調べ、効果的にまとめる技能、社会に見られる課題の解決に向けて思考・判断したりする力を身につけ、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書 ノート(A4) 資料集 地図帳 ワーク	持ち物	教科書 資料集 ワーク 地図帳 ノート(A4) 筆記用具
学習の進め方	①挨拶：全体で挨拶をする。 ②忘れ物チェック ③本時の目標：資料集・資料を提示されたものをみて、本時の学習内容にふれる。 ④教科書にそってプリント学習を進める。 →ワークシート等に板書の記入などを行い、理解を深める。 ⑤グループワークでの活動。 ⑥まとめ：本時のまとめを行う。 ⑦挨拶：全体で挨拶をする。		
学習上の留意点	・「見る・聞く・書く」作業をしっかり意識して学習する。 ・グループワークに積極的に参加し、主体的に学習できるように意識する。 ・図や映像などは教材の内容の意味をよく考え理解する。 ・授業規律をしっかり守り、忘れ物をせず、学習環境を整える。 ・ノートやワークシート等のプリントの記入を徹底する。 ・自分が気になることがあれば、メモを取る。		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	・授業を受ける環境を整えましょう(忘れ物をしないようにしましょう)。 ・提出物の期限を守りましょう。 ・板書はきちんと写しましょう。その上で、授業で説明されたことをメモするなどして、あとで見てもわかるようにしましょう。 ・授業中の教師の問いかけに対して、よく考えて積極的に発言しましょう。 ・わからないところは、授業中・休み時間・放課後に質問をして解決しておきましょう。
家庭	<全体> ・その日の授業内容は、その日のうちに復習しましょう。 ・テストのために、ノートをまとめるなどして学習内容を整理しておきましょう。 ・单元ごとに出されるワークや課題プリントを自宅で期限内に必ず行い、学習内容を整理しておきましょう。 ・出来事や特徴を理解し、文章にして説明できるようにしておきましょう。 <地理> ・地域や工業・農業など、学習した内容を整理しましょう。 ・資料の読み取りかたを理解し、実際のデータを読み取る練習をしましょう。 <歴史> ・出来事の流れを整理し、それぞれの内容を覚えていきましょう。 ・写真・絵などの資料と出来事が関連付けられるように整理しておきましょう。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画		
月	単元計画	試験
4	【地理】 第3部 日本のさまざまな地域 第1章 身近な地域の調査 第2章 日本の地域的特色	
5	第2章 日本の地域的特色 第3章 日本の諸地域 第1節 九州地方	中間 テスト
6	第2節 中国・四国地方 第3節 近畿地方	期末 テスト
7	第4節 中部地方 第5節 関東地方	
8	第6節 東北地方	復習 テスト
9	第6節 東北地方 第7節 北海道地方	
10	【歴史】 第4章 近世の日本 第1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 第2節 江戸幕府の成立と対外政策	中間 テスト
11	第3節 産業の発達と幕府政治の動き 第5章 開国と近代日本の歩み 第1節 欧米における近代化の進展	期末 テスト
12	第2節 欧米の進出と日本の開国 第3節 明治維新	
1	第4節 日清・日露戦争と近代産業	チャレン ジテスト 復習 テスト
2	第6章 二度の世界大戦と日本 第1節 第一次世界大戦と日本	学年末 テスト
3	第2節 大正デモクラシーの時代	

評価にあたって		
評価観点		評価の場面・方法
知識・技能	世界の諸地域や我が国の歴史に関し理解するとともに、様々な情報を調べ、効果的にまとめる技能が身についている。	・授業中の課題・振り返り ・定期テストの指定問題 ・小テスト など
思考・判断・表現	社会に見られる課題の解決に向けて思考・判断したりする力が身についている。	・授業中の課題・振り返り ・定期テストの指定問題 ・小テスト など
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。	・授業中の活動への取り組み方(グループワークなど) ・授業の振り返り ・提出物 ・授業のようす など

☆学習目標

(1)文字を用いた式と連立2元1次方程式、平面図形と数学的な推論、1次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2)文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。

(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書・ノート・問題ワーク・プリント (タブレット)	持ち物	教科書・ノート・ プリント・ファイル・ワーク(問題集)・ (ワークの解答)
学習の進め方	①挨拶:服装を正し、全体で挨拶をする。 ②忘れ物チェック:教科書、ファイル、ワークを持ってくるか確認する。 ③前回の復習:教科書・ファイルを用意し、前回学習した内容を復習する。 ④本時のめあて確認:本時の学習内容を確認する。 ⑤例題で練習:教科書の例題を確認し、必要に応じて板書を写す。 ⑥演習問題:例題を参考にしながら、演習問題をする。時間に余裕がある生徒は、 理解を深めるためにワークなどの演習問題をする。 ⑦演習問題の解説:演習問題の解説を聞いて理解を深める。 ⑧本時の授業の振り返り:本時の授業での重要事項をまとめる。 ⑨挨拶:服装を正し、全体で挨拶をする。 ※計算や前回の授業内容の復習などの確認問題・小テストを行うこともある。 ※内容によって、グループ討議や発表をすることもある。		
学習上の留意点	・忘れ物をしないようにする。 ・きちんとした服装・姿勢で授業を受ける。 ・説明を聞くととき、板書を写すときの区別をつける。 ・分からないことがあれば、手をあげて質問をする。 ・教科書の演習問題に取り組んで終わりではなく、時間に余裕があれば積極的にワークなどの問題をする。 ・家庭で復習する習慣をつける。 ・提出物は必ず期日を守る。		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	・授業中は先生の話聞き、しっかりと考える習慣をつけましょう。 ・板書を必ずプリントに写し、工夫をしながら自分で後から見てもわかりやすくしましょう。 ・忘れ物のないようにしましょう。 ・提出物は期日を守って、きちんと仕上げて提出しましょう。 ・わからないことがあれば質問することで解決し、自力で解けるようになるまで取り組みましょう。
家庭	・毎日学習したことの復習をしましょう。 ・間違い直しをしっかりとしましょう。 ・わからないからといって投げ出さずに、1つの問題にじっくりと時間をかけ考えることも必要です。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって		
月	単元計画	試験	評価観点		評価の場面・方法
4 5	第1章 式の計算 1. 式の計算 2. 文字式の利用	中間 テスト	知識・ 技能	事象を数量や図形などで 数学的に表現し処理する 技能や知識を身につけて いる。	テストの指定問題(確認問 題)
6	第2章 連立方程式 1. 連立方程式 2. 連立方程式の利用	期末 テスト			
7 8 9	第3章 1次関数 1. 1次関数 2. 1次関数と方程式 3. 1次関数の利用	復習 テスト	思考・ 判断・ 表現	事象を数学的にとらえて 論理的に考察し表現した り、その過程を振り返っ て考えを深めたりするな ど、数学的な見方や考え 方を身につけている。	テストの指定問題(確認問題)
10 11 12	第4章 図形の性質と合同 1. 平行線と角 2. 三角形の合同 3. 証明	中間 テスト			
1	第5章 三角形と四角形 1. 三角形 2. 四角形	復習 テスト	主体的 に学 習に 取り 組 む 態 度	数学的な事象に関心をも つとともに、数学的活動 の楽しさや数学のよさを 実感し、それらを活用し て考えたり判断したりし ようとする。	授業態度 提出物 忘れ物
2 3	第6章 データの活用 1. データの散らばり 2. データの傾向と調査	学年末 テスト			
	第7章 確率 1. 確率				

☆学習目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書 プリント ファイル ワーク クロームブック	持ち物	教科書 ファイル クロームブック
学習の進め方	①あいさつ：起立して授業の開始の挨拶を行う。 ②目標確認：本時の目標を確認する。 ③内容理解：教科書や実験器具などを使い今回の学習内容を理解する。 ④整理：教科書や板書をノートにまとめる。 ⑤まとめ：本時の理解を深めるために問題集やプリントを行う。		
学習上の留意点	・忘れ物に注意する。 ・積極的に質問に答えるようにする。 ・学習事項は、習った日にワーク・プリントで復習する。 ・実験を行うときはけがをしないように十分気を付ける。 ・提出物は必ず期日までに提出する。 ・家庭で復習する習慣をつける。		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	・事前の準備をしておきましょう。(忘れ物がないようにしましょう。) ・質問には積極的に答えていきましょう。わからないところはその日のうちに先生に聞きましょう。 ・図や表などで習ったことがイメージできるようにしましょう。
家庭	・毎日理科を勉強しましょう。(短くても良いので) ・その日の学習はその日のうちに復習し、自分の力にしましょう。 ・ワークをならったところをこつこつやりましょう。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
4	〔物質〕 化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち 2章 物質の表し方 3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量		知識・技能 基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	レポート ワークシート 小テスト 定期テスト など
5		中間テスト		
6		期末テスト		
7	〔生命〕 生物の体のつくりとはたらき 1章 生物の体をつくるもの 2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動の仕組み		思考・判断・表現 観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	ワークシート 小テスト 定期テスト など
8		復習テスト		
9				
10	〔地球〕 地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気の様子 2章 大気中の水の変化 3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季	中間テスト		
11		期末テスト		
12				
1	〔エネルギー〕 電流とその利用 1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界	復習テスト	主体的に学習に取り組む態度 事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	振り返りシート ワーク レポート ワークシート など
2		学年末テスト		
3				

☆学習目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	中学音楽2・3上 中学生の器楽 音楽の基本ワーク アルトリコーダー	持ち物	教科書 ワーク ファイル アルトリコーダー 筆記用具
学習の進め方	①挨拶: 服装を整えてあいさつをする。 ②忘れ物チェック: 教科書2冊、ワーク、ファイル、アルトリコーダー、筆記用具の準備をしておく。 ③本時の目標: 本時に何を学ぶか把握しておく。 ④活動: 本時の目標に向けて練習をする。 ⑤挨拶: 服装を整えてあいさつをする。 *実技テストやパート練習があるときは、待っている間に課題プリントをする。		
学習上の留意点	・忘れ物がないようにする。 ・提出物は決められた期日までに必ず提出する。 ・積極的に歌、リコーダーの練習に取り組む。 ・わからないことがあれば質問する。		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	・合唱では、互いのパートをよく聞き、歌詞の内容を味わい楽しく歌いましょう。 ・アルトリコーダーでは、1年生で学習したことをふまえて、それぞれの曲に合う音色で吹きましょう。 ・授業中に大切だと思ったことはプリントにメモしておきましょう。 ・授業中に気づいた演奏に関しての注意事項やアドバイスを楽譜に書き込みましょう。 ・わからないことがあれば質問し、解決していけるようにしましょう。
家庭	・教科書、授業プリント、ワークで復習しましょう。 ・定期テストの学習では、作品や作者の名前、演奏形式、楽典などの語句を覚えましょう。 ・実技テスト前は、学習したことを思い出し各自で練習しましょう。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
4	歌	実技 テスト	知識・ 技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け歌唱、器楽、創作で表している。
5	心の歌 アルトリコーダーの復習 楽典			
6	鑑賞			
7	合唱コンクールにむけて	定期 テスト	思考・ 判断・ 表現	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じとる。 ・どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
8				
9	合唱コンクール曲(課題曲・自由曲) 楽典			
10		実技 テスト 定期 テスト	主体的 に学習 に取り組 む態度	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
11	リコーダー奏			
12	楽典 歌			
1	鑑賞	実技 テスト 学年末 テスト		・授業態度、提出物、忘れ物 ・課題プリント ・ふり返り
2	2年間のまとめ リコーダー奏			
3				

☆学習目標

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。
- ・意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表している。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。
- ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書、美術資料、クロッキー帳、ワークシート	持ち物	教科書、美術資料、クロッキー帳、絵の具(必要な場合)、鉛筆
学習の進め方	①あいさつ ②本日の授業の目標、活動内容の確認 ③活動:描画活動、造形活動、鑑賞活動 ④本日の活動の振り返りと次回の授業の連絡をする ⑤あいさつ		
学習上の留意点	・提出物(作品やプリント)は必ず期日までに完成させて提出する。 ・忘れ物をしないようにする。 ・用具を大切に扱い、後片付けも必ず行う。 ・分からないことがあれば手をあげて質問する。		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	・美術は授業時数が少ないために、取り組める課題数に限りがあります。そのため、作品のひとつひとつ、プリントの一枚一枚が評価に対し大きな影響を及ぼします。提出が要されるものについては必ず提出しましょう。 ・制作を円滑に進めるために、必要な用具や資料をあらかじめ準備して持ってきてよう。 ・美術の苦手意識があっても一生懸命制作に取り組もう。上手い下手は評価の全てではありません。作品への手数、作業量が実は重要です。 ・思ったように表現できなかったりアイデアが浮かばない時は教科書や資料集を見たり、質問したりしましょう。
家庭	・定期テストの学習では、作品や作者の名前、技法などの語句を覚えよう。その際は教科書や美術資料に載っている画像にも目を通しましょう。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
4	●実技「浮世絵」[絵画] 絵画から物語を考えて、作品をつくる ⇒作品を提出する ●鑑賞「日本美術」[鑑賞] プリント、ビデオを用い学習する ⇒プリントを提出する	定期 考 査	観 点 Ⅰ 知 識 ・ 技 能 ●定期テスト「観点Ⅰ」の鑑賞問題 ●材料や用具の生かし方を身につけ、意図に応じて工夫することができている	●定期テスト「観点Ⅰ」の鑑賞問題の得点 ●実技課題の提出
5				
6				
7				
8				
9	●実技「連合スポーツ大会のタオルデザイン」[デザイン] ⇒デザイン用紙を提出する ●実技「ポスター」[デザイン] テーマに沿って人に伝えるためのデザインを考える ⇒作品を提出する ●鑑賞「日本美術」[鑑賞] プリント、ビデオを用い学習する ⇒プリントを提出する	定期 考 査	観 点 Ⅱ 思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 ●定期テストの「観点Ⅱ」の実技問題～完成度、発想 ●制作に向けて、自主的に参考になるような資料を準備する ●制作を円滑に進められるよう、事前に構想を練っている ●鑑賞プリントの空欄に入る語を埋め、記述することができている	●定期テストの「観点Ⅱ」の実技問題の得点 ●発想の数々が作品に重層的に表現されている ●自らの発想の工夫を言葉や文章で説明することができる ●鑑賞プリントの提出
10				
11				
12				
1	●実技「仏像」[絵画] テーマにそって葉書に絵を描く ⇒葉書を提出する ●実技「はんこ」[工芸] 消しゴムはんこで連続模様をつくる ⇒作品を提出する ●鑑賞「日本～西洋美術」[鑑賞] プリント、ビデオを用い学習する ⇒プリントを提出する	定期 考 査	観 点 Ⅲ 主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度 ●授業に遅刻をしない ●忘れ物をしない ●道具を適切に用いている ●貸し出された道具をきちんと返却する ●自分の机の周りを汚さず片付けている ●長期休業間の宿題～完成度、発想 ●制作過程の振り返りシート	●遅刻や忘れ物、道具の扱い方については随時観察する ●長期休業間の宿題の提出
2				
3				

☆学習目標

(領域C) 生物育成に関する技術

○生物育成に関心を持ち、生物育成と生活や環境の関係について考え、育成生物の生育条件と生物育成技術とのつながりを理解する。育成生物を計画的に育てる活動を通して、生物育成を工夫し想像する能力と実践的な態度を育てるとともに、育成技術を適切に評価し将来に向けて選択する能力をつける。

(領域B) エネルギー変換に関する技術

○エネルギー変換に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるとともに、エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たす役割と影響について理解してそれらを適切に評価し活用する能力をつける。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書	持ち物	教科書・ノート
学習の進め方	・教科書の内容を見る。(学習内容の確認する。) ・授業ノートにまとめる。(板書を写す、メモを取る。) ・実技(目的や手順に従って安全に実習を進める。)		
学習上の留意点	・忘れ物がないか授業の始めに毎時間チェックをする。 ・実習等の実技の際は安全面に注意する。 ・定期的に授業ノートを提出する。		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	・教科書・ワークノートの準備をしておきましょう。(授業に対する意欲・態度点に入ります。) ・黒板の板書は必ずノートに写しておきましょう。(テスト勉強に役立つ。) ・教科書の大切な個所には赤線を引いておきましょう。(テストによく出る。) ・提出物は必ず決められた日までに出示しましょう。(提出点が悪くなります。) ・解らないところがあれば、必ず質問して解決しておきましょう。
家庭	・授業の内容を家庭で思い出し、実践できる場所はトライしてみる。 ・試験前は、ノートに書いたところを中心にプリントや教科書の内容をしっかりと勉強する。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
4	C 生物育成に関する技術	定期試験	知識・技能	・実習中の作業の様子 ・授業中の取り組みの様子 ・定期試験 ・提出物(ノート・課題プリント)
5	1. さまざまな生物育成の技術			
6	2. 生物育成の技術による問題解決			
7	3. これからの生物育成の技術			
8	B エネルギー変換に関する技術	定期試験	思考・判断・表現	・製作品(栽培を含む)の加工および製作過程 ・製作品の完成度度 ・定期試験 ・提出物(ノート・課題プリント)
9				
10				
11				
12				
1	5. 実習製作	定期試験	主体的に学習に取り組む態度	・授業中の取り組みの様子 ・教科書・ノート等の忘れ物 ・提出物(ノート・課題プリント)
2				
3	6. これからのエネルギー変換の技術			

☆学習目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書	持ち物	教科書、ファイル (実習で使用するものは事前連絡)
学習の進め方	[教室での授業] ①挨拶: 服装を整えて全体で挨拶をする。 ②忘れ物チェック: 教科書、ファイルを確認する。 ③本時の目標: 教科書の内容を見て学習内容を確認する。 ④内容理解: 板書の内容や、気づいたことをプリントにまとめる。 ⑤まとめ: 本時の重要事項をまとめる。 ⑥プリント提出 ⑦挨拶: 服装を整えて全体で挨拶をする。 [実習を行うとき] ①挨拶: 服装を整えて全体で挨拶をする。 ②忘れ物チェック: 教科書、ファイルを確認する。 ③本時の目的や手順を確認する。 ④実習: 安全に気を付けて実習を行う。 ⑤後片付け ⑥挨拶: 服装を整えて全体で挨拶をする。		
学習上の留意点	・忘れ物をしないようにする。 ・毎時間授業後にプリントを提出する。欠席をした場合も、プリントを見せてもらい、必ず提出する。 ・提出物は必ず期日を守って提出する。 ・実習等の実技の際は安全面に注意する。		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	・忘れ物がないようにしましょう。 ・ノートは黒板に書いてあることだけでなく、自分の考えや、大切だと思うことをメモしておきましょう。 ・提出物は決められた日に必ず提出しましょう。 ・わからないことがあれば、積極的に質問しましょう。
家庭	・授業の内容を家庭で思いだしたり、実践してみましょう。 ・テスト前は、プリントに書いたことを中心に、教科書の内容もしっかりと勉強しましょう。 (後回しにすると、時間が無くなるので早めにとりかかろう)

学習内容及び評価について(通年)

学習計画		
月	単元計画	試験
4	何をどれだけ食べたらよいか 中学生に必要な栄養の特徴をしよう 食品に含まれる栄養を調べよう 1日に必要な食品の種類や概量を知ろう 1日分の献立を考えよう	定期 テスト
5		
6		
7	調理と食文化 食品の選択と購入について考えよう 購入した食品を適切に保存しよう 調理の基礎を知ろう 肉を調理しよう 魚を調理しよう 野菜を調理しよう 地域の食文化を知ろう 和食を理解しよう	定期 テスト
8		
9		
10		定期 テスト
11		
12		
1	生活を豊かにする製作 被服実習	定期 テスト
2		
3		

評価にあたって		
評価観点		評価の場面・方法
知識・技能	・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解している。 ・1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解している。 ・地域の食文化について理解している。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	提出物A(課題プリント) 作品 定期テスト
思考・判断・表現	・1日分の献立について、栄養量などを考え工夫している。 ・調理に必要な手順や時間を考えて計画したり、食品の特性を生かした調理を工夫している。	提出物B(課題プリント) 作品 定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	・身近な食品を選択するために必要な情報を収集・整理できる。 ・調理の目的や食材に合った基本的な調理操作できる。 ・安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理できる。	提出物C(課題プリント) 作品 定期テスト

学 校	・欠席、遅刻、忘れ物、授業態度などに気をつけましょう。 ・実技テストに向けて日々の授業の練習を大切にしましょう。 ・定期テストでは、保健の授業で学んだことを復習しましょう。 ・授業中の自己評価カードなどにポイントなどを記入しましょう。 ・球技などの試合の時は、チームでどのように課題を解決するか相談しましょう。
家 庭	・授業の前日に必要なものを準備し、忘れ物がないようにしましょう。 ・授業で学習した内容の復習をしましょう。 ・ランニング、ストレッチ、腹筋、腕立て伏せなどの筋力トレーニングを行いましょう。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画				評価にあたって			
月	単元計画			試験	評価観点	評価の場面・方法	
	男子	女子	保健(男女)				
4 5	集団行動 体づくり運動 ハードル走 走り高跳び	集団行動 体づくり運動 短距離走	・体育に 関する知識	スポーツテスト 実技テスト 定期テスト	知識・技能	・正しいフォームで行うことができる。 ・正確な動作である。 ・速く走る、遠くへ跳ぶ等ができる。 ・筆記テスト ・ルールや使用する道具の名称をきっちり言える。 ・安全に留意して運動を行う。	・チェック項目を設けての実技テスト。 ・個人設定目標を達成することができる。 ・筆記テストの点数 ・日々の授業や、ワークシートを用いる。 ・指示に従ってきっちりと動く。
6 7	バスケット ボール 水泳	ハードル走 水泳	・保健 (健康な生活と病気の予防②)			・試合プレーでの判断力、思考力 ・ペア活動、グループ活動での話し合い ・振り返りシート ・レポート ・保健ノート ・授業プリント	・筆記テストの点数 ・試合中のチームワーク ・集団行動 ・振り返りシート
8					思考・判断・表現		
9	剣道	走り幅跳び		実技テスト 定期テスト	主体的に学習に取り組む態度	・粘り強く思考力、判断力、表現力を身に着けようとしているか。 ・粘り強い取り組みの中で、自らの学習を調整しようとしているか。 ・振り返りシート ・出席点 ・忘れ物 ・遅刻 ・声を出す ・ラジオ体操 ・保健ノート ・授業プリント	・振り返りシート ・出欠確認時 ・日々の授業
10	ハンドボール	剣道					
11	長距離走	長距離走	・体育に 関する知識				
12		ダンス	・保健 (傷害の防止)				
1	サッカー	ハンドボール					
2	ダンス	ソフトボール		実技テスト 定期テスト			
3	ソフトボール	サッカー					

☆学習目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる力を養う。

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書、プリント冊子、ワーク、ファイル、 自主学習用ノート	持ち物	教科書、プリント冊子、ファイル
学習の進め方	①Daily Questions: 日時・曜日・時刻・天気についての質問に英語で答える。 ②Word Check: 英単語リストを使い、ペアで日本語⇄英語の即興翻訳をする。 ③文法説明: スライドでの導入の後、意味や文の形、使用場面などを簡潔に説明する。 ④練習や活動: 習った文法事項や語彙を使い、アクティビティや練習問題に取り組む。 ⑤新出単語の練習: くりかえし発音し、ノートに練習する。 ⑥Underline: 新出語彙や重要表現を確認し、本文の概要や登場人物の気持ちなどを把握する。 ⑦文章の音読練習: いろいろなリーディングパターンを使って読む練習をする。 ⑧本時の授業のふりかえり: 授業内容や授業でできたこと・できなかったことを振り返る。 ※単語小テストやパフォーマンステストなども行う。		
学習上の留意点	・必要な持ち物を持ってくる。 ・一度もらったプリントはなくさない。 ・授業で扱った教科書の新出単語や本文は、自宅で何度も音読練習する。 ・できるだけ習った日にワークを何度も解き、文法の定着を図る。 ・授業で取り組んだプリント(ファイル)やワーク等は適宜提出する。		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	・忘れ物をしないようにしましょう。 ・授業をしっかりと聞いて、大きな声で発音し、読みましょう。 ・授業で学ぶことは、授業中に覚える努力をしましょう。 ・ペア学習、班活動等の対話練習、活動練習は積極的に活動しましょう。 ・ノートは丁寧な字で書きましょう。
家庭	・英単語は「見て・声に出して・書いて」の手順で覚えていきましょう。 ・音声を聞きながら単語リストを音読すると効果的です。 ・わずかな時間でも、できるだけ毎日英語の学習に取り組みましょう。 ・特にワークは授業で学習した後、あまり時間が経たないうちに取り組んでおきましょう。 ・ワークはテスト1週間前には終わらせ、テスト前は弱点の克服に時間を使いましょう。 ・余裕がある生徒は、1年の復習や2年の予習もしましょう。 ・自分が苦手な英語の力を振り返り、自分に合った方法で自主学習ノートに取り組んでみましょう。 ・洋画や洋楽など、自分が興味を持てることから英語に触れていくと、英語学習のモチベーションをあげることができます。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって		
月	単元計画	試験	評価観点		評価の場面・方法
4	Unit 1 Hajin's Diary Daily Life 1 電話		知識・技能	・各単元で学習する文法事項や語彙の意味と使い方を正しく理解しているか	・定期テスト *語彙・文法問題 ・音読テスト
5	Unit 2 Basketball Tournament	中間テスト			
6	Daily Life 2 ラジオのニュース Active Grammar 1 Unit 3 Plans for the Summer Daily Life 3 アナウンス Active Grammar 2	期末テスト			
7	Let's Read 1 The Cookies Daily Life 4 レストラン You Can Do It ! 1 「わが町観光プラン」をおすすめしよう World Tour 1 English Around the World		思考・判断・表現	・既習の文法を入れて自分の考えを表現できるか ・自分の意見や考えを英語で伝えることができるか ・表などを読み取り、質問に対して適切に答えることができるか	・定期テスト *リスニング問題 *文章読解問題 *英作文問題 ・スピーキングテスト ・英作文課題
8					
9	Unit 4 Tour in Singapore Active Grammar 3	復習テスト			
10	Unit 5 How Do We Stay Safe? Daily Life 5 電車の乗り換え Daily Life 6 体調不良	中間テスト			
11	Active Grammar 4 Unit 6 Guide Dogs Active Grammar 5 Active Grammar 6	期末テスト			
12	Let's Read 2 Meet Hanyu Yuzuru You Can Do It ! 2 誰もが楽しめるイベントを提案しよう Daily Life 7 オンラインツアー World Tour 2		主体的に学習に取り組む態度	・授業に積極的に参加出来ているか ・ふりかえりができているか ・定期テストや小テストなどの結果を踏まえて、自分なりのやり方で学習できているか ・一つの課題に対して、すぐにあきらめず、既習事項や教科書の例文を参考に粘り強くとりくめているか	・プリント冊子の完成度 ・自主学習ノート ・単語小テスト ・文法小テスト ・授業振り返りシート ・忘れ物、授業の参加状況
1	Unit 7 Working Together Active Grammar 7 Unit 8 Performing a Play	復習テスト 学年末テスト			
2	Active Grammar 8 World Tour 3				
3	Let's Read 3 Emojis You Can Do It ! 3 かるたで地域のPRをしよう Let's Read More 1, 2				